

各 位

薬剤部／薬品情報室（D I 室）

D I ・ BOX # 0 7 6 5

「メルカゾール錠5mg」「メルカゾール注100mg」 における無顆粒球症発現について

抗甲状腺剤「メルカゾール錠5mg」「メルカゾール注10mg」（中外）は、過去にも2004年に無顆粒球症等についての安全性速報（ブルーレター）が出される等の注意喚起がされていますが、**2001年1月から2013年12月までに無顆粒球症が684例（うち死亡15例）**報告されています。なお、**2012年1月から2013年12月までに無顆粒球症による死亡が4例**報告され、**うち3例が感染症症状で処方医以外を受診した際に、白血球分画の測定がなされず、インフルエンザ等の対応のみであった**と報告されています。

また、報告された**無顆粒球症の71%が投与開始から2ヶ月以内に発現**していることから、本剤を使用する際は、改めて以下の点に注意をして下さい。

- ・ **投与開始後2ヶ月間は、原則2週に1回、それ以降も定期的（少なくとも3ヶ月に1回）に白血球分画を含めた血液検査を実施する。**
- ・ **患者に副作用の発現リスクについて説明し、無顆粒球症の初期症状（のどの痛み、発熱等）が現れた際には、直ちに受診するよう指導する。**
- ・ **患者に処方医以外の医療機関を受診する場合には、本剤を服用していることを医師に告げるよう指導する。**

オーダ名	メルカゾール錠 5mg	
成分名、規格	チアマゾール、5mg／錠	チ
適応症	甲状腺機能亢進症	甲
外観		
区分	処方／共通	注射

* 詳細・不明な点につきましては医薬品情報室（3194）までお問い合わせください。

* 「DI・BOX」は電子カルテ（EGMAIN）の掲示板およびイントラネットで参照・検索できます。